



いくみん教育だより 第26号



いくのくちょう やまぐちてるみ
生野区長 山口照美

あつ なつ す ぎょうじ へ いそが がっき はい
暑い夏が過ぎ、行事は減りましたが忙しい2学期に入りました。

しんがた すこ お っ づ ひ つづ にちじょうてき かんせん ぼうし
新型コロナウイルスは少し落ち着きましたが、引き続き日常的な感染防止

いくのくたんとうきょういくじちょう
(生野区担当教育次長)

には努めてください。季節の変わり目、体温調整にも気をつけて!

オンラインゲームについて、話し合う機会を作ろう!

みぎした あんない の いくのく しょうがくせい にんぎ だつごく もち
右下に案内を載せていますが、生野区では、小学生に人気のあるオンラインゲーム『脱獄ごっこ』を用いたe
スポーツ大会を開催します。「行政がなぜ?」という疑問もあるかと思しますので、説明します。

え スポーツ大会をやろうと思った意図は、3つあります。1つは「ゲームの教育効果
を探る」ためです。学校休校中、こどもたちはゲームで「やりぬく力」「課題解決



する力」「調べる力」「集中力」など、いろいろな力を身につけています。その力を
評価し、日ごろの学習や人間関係づくりに活かせるよう、大人もこどもも考える機会を作ろうと思しました。

2つ目は「職業観を広げる」ためです。ゲーム業界はこの10年、成長し続けている業界です。日本は遅
れていますが「e スポーツアスリート(プロゲーマー)」として活躍する人もいます。このイベントでは「ゲームを
仕事にする」人たちの話を聞き、ゲーム好きなこどもたちの可能性を広げる機会にしたいのです。

3つ目は「ゲームとの付き合い方を考える」ためです。今問題になっている課金や友人同士のトラブルは、
日ごろの金銭感覚や交友関係の延長です。プロゲーマーからも、時間管理やゲームとの付き合い方につい
て話してもらいます。知らないと叱るだけになり、本質が見えなくなります。まずは一緒に考えましょう!

《親子で読書のすすめ》

『**ポケモンをつくった男 田尻智**』(小学館版学習

まんがスペシャル)構成:菊田洋之/まんが:田中顕

「昆虫博士」と呼ばれたこどもが成長

し、ゲームにハマった学生時代を経て
作ったゲームが「ポケットモンスター」。

2世代が夢中になったポケモンをどう
やって思いついたのかや、チームで作

るゲーム制作の舞台裏など「ゲームを
仕事にする」人の努力や考え方がわ



かるマンガです。ポケモンはゲーム業界に「収集・育成・

対戦・交換」という新たな要素を付け加えました。開発側

の気持ちを知ると、視野が広がります!

生野区×ロート製薬×デジタルハーツ

「脱獄ごっこ×

生野っこeスポーツチャレンジ!!」

10/10(土)14時~16時

Zoomによるオンライン開催

(運営協力:スポーツタカハシ株式会社)

4人一組で優勝をめざそう!

はプロのeスポーツ選手へ

の質問コーナーもあります。

地域まちづくり課

TEL:06-6715-9023



学校再編の最新情報をTwitterで発信中!

生野区再編 Twitter で 検索